



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

アルジェリア：投資実績報告

(18日付アルジェリア各紙)

2012年7月18日付アルジェリア各紙は、投資開発庁（ANDI）のマンスーリ代表が2012年上半期の投資実績について発表したと報じた。マンスーリ代表の発言概要は、以下のとおり。

1. 2012年上半期において、投資件数4,275件、投資額4,100億DAを記録し、同額は、前年同期比で9%の上昇であった。そのうち、国内投資委員会（CNI）によって新たに認可された外国企業による投資案件は6件で、その額は340億DA、創出される雇用数は1,230人になる。いずれも51/49%の資本比率に則ったものである。6件の内訳は、スペインと仏国がそれぞれ2件、フィンランドとレバノンが1件ずつとなっている。投資内容は、セメント加工工場、製紙加工工場、農学機械製造工場の設立のほか、長距離用配水管設備の企業、ガス・電気処理研究の企業設立である。

2. 2011年、ANDIに申告された投資案件のうち、外国企業によるものは30%で、全体では23件となっている。これは、2010年が10件であったことに比べて、外国企業による投資件数が増加傾向にあることを示唆している。また、2011年は、全体の投資額が前年比で3倍に成長しており、「回復の1年」であった。2012年上半期の成長は、2011年12月に決定された法人税や企業活動税等の10年間免除、土地収容の優遇といった新たな措置が有効に機能している証左である。